

管機連 Daily News

2021年11月22日(月)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆欧州の新規感染最多 規制強化に逆戻り、飲み薬承認も

・新型コロナウイルスの感染が再拡大している欧州で、ロックダウン(都市封鎖)などの行動制限に逆戻りする国が相次いでいる。オーストリアでは22日からロックダウンに入り、ワクチン接種も義務化。厳しい行動制限には国民の反発が大きく、経済を冷え込ませる。欧州連合(EU)は治療用飲み薬の緊急使用を承認した。

◆駅バリアフリー化で運賃上乗せ 23年春から10円程度

・国土交通省は19日、鉄道駅のバリアフリー化を促すため鉄道料金制度を見直すと発表した。段差解消やホームドア設置などの整備費用をまかなう目的で現行料金に一定額を上乗せすることを認める。新たな料金設定は鉄道事業者が決めるが、1回の乗車で最大10円程度の値上げを想定する。意見公募を踏まえて年内に関連省令の改正をめざす。

◆10月の消費者物価0.1%上昇 灯油やガソリンが押し上げ

・総務省が19日発表した10月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は、変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が99.9と前年同月に比べて0.1%上昇。プラスは2カ月連続。原油価格の高騰で灯油やガソリンなどのエネルギー品目が大きく値上がりし、全体を押し上げた。品目別にみると、エネルギーが全体で11.3%上昇した。伸び幅は13年1カ月ぶりの大きさだった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆三井不動産、再生エネ発電所30カ所 全170施設CO2ゼロ

・三井不動産は2030年度までに太陽光発電所を最大30カ所新設する。国内に保有するオフィスビルや商業施設など全170の施設に再生可能エネルギー由来の電力を供給する。顧客から脱炭素対応のニーズが高まるものの、国内では再生エネの安定調達やコスト面で障害がある。企業が電力事業者に頼らず自前で確保する動きが広がってきた。

◆住宅ローン減税、控除率0.7%要望 国交省

・斉藤鉄夫国土交通相は19日の閣議後の記者会見で住宅ローン減税の見直しについて「住宅ローン金利の平均的な水準を勘案し一律に引き下げる一方、従来と同程度の支援規模を確保するため控除期間を延長することを要望している」と明らかにした。2022年度税制改正論議で控除率を現行の1%から0.7%に縮小することを求める。

◆ガソリン補助金、小売価格170円超で発動 最大5円抑制

・経済産業省は19日、ガソリン価格の上昇幅を抑える対策を発表した。小売価格の全国平均が1リットル170円を超えた場合、石油元売り会社などに補助金を支給し、値上げ幅を最大5円抑制する。軽油や灯油、重油も対象とする。12月中に始め、2022年3月末までの期間限定措置とする。実効性や公平性を疑う声も多く、競争環境がゆがむ恐れがある。

《 注目商品 》

■クリナップ 中高級キッチン「ステディア」刷新、対面の手元を見えにくく

・主力の中高級価格帯システムキッチン「STEDIA(ステディア)」を大幅にモデルチェンジ。2月1日受注開始。「開放感はほしいけど手元は見せたくない」というニーズを満たす新プランとして、カウンターに立ち上がりの段差をつけたデュアルトップ対面採用。手元の視線を遮り、水や汚れを広がりやすく。



■パナソニック、非接触で照明をON/OFF アドバンスシリーズ「非接触スイッチ」

・手をかざすだけで触らずに照明器具のON/OFFができるスイッチ。3月21日発売予定。操作部に新規開発した光学プリズムレンズを採用。照明が消えている時でもレンズ部が発光し、暗くてもスイッチの位置がすぐわかる。赤外線センサの受光部を兼ねた単一レンズで、デザインもすっきり。



■ポッシュ、ハイパワーなコードレス工具「BITURBO」

・18Vプロフェッショナル用工具「BITURBO(倍ターボ)」シリーズから、コードレスハンマードリルとコードレスインパクトレンチを発売する。これで昨年発売したコードレスディスクグラインダー、コードレス丸のこなどを含め、5カテゴリー14機種の品揃えとなる。

